

第三回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会 議事要旨

日程：平成 20 年 3 月 10 日（月）

09：00～11：00

会場：本宮市役所 3F 大会議室

（発言者） ：委員 ：事務局

意見交換

（1）意見を踏まえた治水対策の方向性について

P16（資料 - 1）の各ゾーンの治水対策の方向性について、3-2案も含めた案を示しているが、市の体力からいうと若干不安な部分もある。

3-2案が、まちづくりとしては理想的であると思う。しかし、前提条件として、3-2案は事業だけで出来るものではなく、あくまで住民が主導的・主体的に進めるのが前提になるのではないかと。面的な整備の実現性としては関係する住民の総意が必要であると思う。

あくまでも3-2案は、住民・地権者の総意が無ければならないということである。

3-1案から3-2案に進めるにあたっては、都市計画の展開の問題、住民の協力が不可欠。面的な整備となれば住民の方にも多大なエネルギーが必要となる。そういう意味では、具体的な手法に踏み込んだ内容となっており、3-2案は理想的であるが、そのような前提を踏まえた議論が必要である。

3-1案から3-2案に変わるということは、懇談会の趣旨である治水対策としてのスタートからずれるのではないだろうか。一番の住宅密集地であり相当費用の面でもかさむ。3-2案に限定することが当初の治水対策とのギャップがある。

竣工までの時間も当初の目的の10年～15年ではなく、30年～40年もかかるのではないかと。激特の関係で県道が整備されてその時に新築した家も多くあり、3-2案になると抵触してくる。果たして住民の方々の負担が大きくなった場合に、現実味があるのだろうかと思ってしまう。

まちなみのイメージが浮かんでくるが、全てを変えとなると相当体力が必要かと思う。県道側については相当商店が張り付いているが、世代交代の時期にきており、今後5～10年でうまく世代交代が出来るのか不安である。

BやC-1ゾーンは、今年開拓400年の節目の年になる。これまで何回か洪水があり、その度に検討してきたと思う。その時は出来なかった。理想的には3-2案であるが、何年で出来るかわからないと思うと3-1案ではないかと思う。

3案を基本とし中心市街地は3-1案が妥当と考えられるが、地域の方々が3-2案を望んでいるのは理解できるので、何故3-2案が難しいのか、懇談会の意見をきちんと説明していく必要があると思う。

(2) 治水対策と一体となったまちづくりの方向性について

懇談会を踏まえて意見を聴く会を開催するとのことだが、P12(資料-1)以降の細かい資料も配布されるのか。3-1案から3-2案に懇談会としての方向性を出すとすると、建て替えと書いてあると、建て替えなければならないと理解する方と、自分たちが建て替えなければならないと理解する方と、理解の仕方が異なる。建て替えに対する考え方をこの資料の中に落とし込む必要がある。

但し、あまり課題等を示すとブレーキがかかるかもしれない。難しい問題である。

前回の意見を聴く会で、それぞれの案を説明している。3-2案については、建て替えは住民の負担も伴うことは説明している。この資料だけを見るとその記載は無いので、3-2案であれば、治水事業だけではなく、例えば、区画整理事業等、地元が主体となった事業も伴うという記載をしたい。

何故、この懇談会が、3案と3-1案としたかきちんと説明すべきである。どういう話し合いが行われてきたか、市や国や地域の意見のやりとりがあると思う。我々の懇談会としては3-1案まででしょうという話をきちんと説明しある程度理解してもらうべきである。情報の量が異なっており、同じ情報量であれば3-2案は出てこないのではと思う。そのままで行けば、面整備も含めて全てやってもらえと考えてしまい、出来るのなら地域の人は3-2案にして下さいと言うだろう。

A~Cゾーンの工事の優先順位はどうなっているのか。A~Cに入るまで時間があるなら、その間に地域の人との話し合いの時間が十分とれると思う。

治水対策の現在の考え方は、Aゾーンは背後地盤が低く、最も高いのがBやC-1ゾーン、その次に低いのはC-2。氾濫した場合に被害が大きいと想定されるAゾーンは優先的と考えている。概ね安達太良川を起点として、下流側が優先度が高いと思っている。

安達太良川を起点としているという話だったが、安達太良川の左右岸が低くなっている。安達太良川の左右・南北をエリアに検討して欲しい。両方低い。地域的なことは本宮市が理解していると思うので配慮して欲しい。

21日に意見を聴く会があると聞いたが、その時に出るのが今の優先順位の話だと思う。Aゾーンと安達太良川境界のゾーンが低いということで、そこを第一に進めていくという説明をしてもらうと良いと思う。

事務局に確認であるが、早期の治水安全度を考えると3-1案が望ましいが、地区住民の意見や市の今後の都市計画を踏まえて3-2案とした経緯について説明して欲しい。

川沿いの家屋のみ住環境を再生するのが3-1案、地区全体で再生とするのが3-2案である。

3-1案の場合は、結果的に凸凹になってしまうという整備について、隣は高く隣は低いという意見があり、理想的な形としては3-2案とさせて頂いた。「4.事業の進め方」(資料-1)では、地域の合意等なければならない。課題がある旨を記載し、計画の見直しも含めたフォローアップも位置づけた。計画実施には時間がかかるので、必要があれば計画の見直しをすることも踏まえ、3案を基本とするが、理想形としては3-2案とした。例えば、同じBゾーンでも既に県道整備の区間については新たに建て替えた家屋も再度建て替えるのかということもあるので、川沿いのみ建て替える3-1案も考えられる。その辺はフォローアップで対応していきたいと考えている。

3-1案に限定するが、懇談会として可能性を残して3-2案が望ましいということで良いか。

今後具体的に検討していき、可能性として残していくということで良いか。

(治水対策の方向性について合意)

あくまでも構想という形の中で、築堤がどう変わっていくのかそれでまちづくりがどう変わっていくのか、併行でいくべきものだと思うので、構想ということで了承した。

(各ゾーンのまちづくりの構想について合意)

(3) 提言書(素案)について

Aゾーンから整備が入った場合、全く住民が建てられない、移転させざるを得ない家屋の戸数は出ているのか。どこに移転する場所があるのか等聞かれる場合がある。

まだ何戸という詳細な調査は行っていない。

治水対策については、示した案に基づいて我々が事業の計画を立てる。そのために必要となる調査・測量を平成20年度から入る予算を申請している。それが認められれば平成20年度から実際の現地の測量や、設計の作業に入っていきたい。

基本的な考え方としてA～Cの一連区間が一体の事業区間と思っている。

計画の熟度は、地元の調整事項等、連携が必要であり、現時点では具体のスケジュールをはなせる段階ではない。提言が出来ることを前提とした予算要求であり、平成20年度は緻密な測量の前段階である。提言が出来れば先ほどの話のように測量に入ることとなるが、Bゾーンは慎重にする必要があり、具体的な測量はもう少し先かもしれないと考えている。

治水対策からまちづくりに話が広がり、進捗が遅れるのではないかとの意見があった。河川管理者としてすべき治水対策を示し、3案で合意が得られた。3案を実施する場合に、3-1案や3-2案等があり、堤防の川裏側のことを考えると、切り離しては考えられないものであり、河川管理者だけでなく、地域、地元、市が中心となって考えることである。

叩き台として提示して地域の意見を聴くと、理想としては凸凹が無いようなまちなみが良いという意見があり、それを理想型として3-2案として示した。

しかし、3-2案に対する課題はきちんと説明はしていない。説明の仕方は考える必要があり、次回の説明会まで考えなければならないが、次回の説明会には3-1案や3-2案について問題・課題やかかる費用や時間等も含めて提案させて頂き、出来れば年度内にはとりまとめていきたいと考えている。時間がかかる場合は、次年度も引き続き合意形成を行っていくことも考える。

(資料-4)(素案は)流れがわかって非常に良いのではないかと。

P2-15(資料-4)の最終的なまとめについて、このままの形で良いのか。誤解の無いようにする必要はある。懇談会の各委員の意見を踏まえて、3-2案が望ましいということの中身について、今回の議論がここの中に反映できるように考える必要がある。懇談会のまとめとして表の表現を検討頂きたい。

P2-15(資料-4)の表の備考の部分の表現を再考すればよいかもしれない。

望ましいという表現は、前回の地域の意見を聴く会を踏まえて記載したものであり、改めて地区の意見を伺い、表現を考えていきたい。

地区の意見を伺い、それを踏まえて必要に応じて事務局で表現を変えるということで良いか。

(合意)

4.事業の進め方(資料-4)について、基本的に良いと思う。

会の構成や本宮市のまちづくりの中身を考えると、市民団体の中でTMOは外せないと思う。NPOという形になっているが、出来れば地域づくりの中で大きなウェイトを占めている団体なので、配慮して欲しい。

全体を通じて、素案(資料-4)については現行通りで認めて頂くということで良いか。

(合意)

大筋はご提案頂いた形で合意して頂いたが、今回の委員の方からの意見を整理して、修正出来る所は修正するなど、再度ご検討頂きたい。

- 以上 -